

第七回 羽田再拡張D滑走路建設工事山砂安全連絡会 議事次第

日 時 平成21年 5月27日(水) 自:14:00 至:16:00
場 所 京成ホテルミラマーレ 6階 ローズルーム

1. 議事

- (1) 山砂運搬計画について
 - ①今後の山砂調達計画について
 - ②今後の山砂運搬経路について

2. 報告事項

- (1) 環境モニタリング結果
- (2) 安全管理の実績
- (3) 問い合わせ情報処理の状況

(議事結果)

○山砂運搬計画(埋立ピーク時)が了承される。

〔運搬計画策定に係る事前の地元からの意見〕

- ・昨年7月に今までで最大の運搬(120万m³/月)を経験したが、クレームが多かったことから、月間の最大運搬量についてはこれを上限とすること。また、観光シーズン(夏季)に対する配慮をすること。
- ・高速道路における土砂飛散防止措置として、ダンプ荷台へのシート養生をすること。
- ・一般道路への泥引き(沿道環境保全)に対し、協力すること。
- ・運転手に対する運搬計画・運搬規則の周知について徹底すること。(他県ナンバーや新規入場者へは特に配慮すること。)
- ・新規土源においては状況により、現地に見張り員を設けるなど交通安全に対する配慮をすること。

(主な質疑・意見等)

◎運搬経路

※ 天羽地区の新規土源へのアクセスとして国道465号線が新規ルートとなっているが、歩道もなく車両同士のすれ違いも難しいほど狭隘であり、近隣には学校もある。このルートに日当たり何台のダンプが走行することとなるのか。(千葉県)

→ 運搬経路図(案)に示すとおり、ピーク時に1日当たり60台の走行を計画している。このルートは狭隘であるため、特に通学時間帯には配慮しなければならないと考えており、「清和地区子供を守る会」と連携して対応をしていきたいと考えている。

※ 資料-5の運搬経路図(案)における予備ルート「O」は、現在君津市で通行止めとしている橋を通行することとなるので予備ルートから外すこと。(君津市)

→ 予備ルート「O」上には、現在、通行止めにして補修工事を行っている君津大橋があることを承知している。補修工事が完了した後に予備ルートとして位置付けすることを考えている。

◎山砂調達計画

※ 月毎の山砂の調達量については、145万 m^3 /月では多すぎるとの関係各者からの意見を踏まえ、昨年7月の最大実績である120万 m^3 /月を最大調達量にするとの説明を受けたが、昨年7月も多くのクレームがあったということが記録として残っており、120万 m^3 /月でも問題は多々ある。昨年度は多くのクレームに対し、如何に対応したのか。(千葉県)

→ 昨年の7月のクレーム数は27件あり、昨年度中で最も多く、内容としては運転マナー・ルールについてのものが多数を占めた。これらについては安全教育の徹底や安全パトロールを強化することとし、極力クレームが発生しないように対処していきたいと考えている。

※ 観光シーズンである夏季について、どのような対応をしてダンプ台数を減らしていくのか。(千葉県)

→ お盆の時期の運搬自粛を考えており、その間はストック材を最大限利用することを考えている。なお、今年のゴールデンウィークも運搬を自粛しており、その間はストック材を利用して空港工事を進め、結果として、運搬に係るトラブルを回避できた。

※ 資料－6に示す平成20年度（護岸築造ピーク時）のダンプ延べ台数は昨年度ピーク時の7月での実績値ということか。（千葉県）

→ 平成20年度のダンプ延べ台数は計画値であった130万㎡/月における計画台数を示すものである。

※ 運転ルール・マナーの周知徹底について、強く求める。また、今年度は、今まで以上にピーク状態が長く続くということであるため、想定されないような状況が出てくる可能性がある。その状況により、様々な措置を執るということだが、その措置は連絡会をもって決めていくのか。（木更津市）

→ 長い期間にわたってピーク状態が続くことにより具体的にどのような問題が浮上してくるのかは現時点では明確でない。あるポイントに苦情が集中してくるのではないかと考えている。内容や状況によって対応することとなるが、基本としては個別協議にて対応を図っていききたい。

◎運転ルール・マナー

※ 苦情内容を見ると運搬ルールに関するものが多いが、運搬量が増えることによってルート外走行の苦情が多くなっているのか。（千葉県）

→ 平成19年度において、特に高速道路利用に移行する前はルート外走行が多かったが、高速道路利用が定着してからは僅かとなっている。

※ 僅かでもルート外走行があるのであれば、それに対してどのような対応を執っているのか。運搬量が増えることで県外のダンプも入ってきてルート外走行することが心配であるので、安全教育を徹底してもらい、苦情がゼロになるよう努めてもらいたい。（千葉県）

→ 参考資料 - 4のとおり、安全パトロールを実施して状況を確認・改善するなどの措置を引き続き執っていききたい。特に、箇所を示す苦情にあっては、その内容により重点パトロールを実施してきており、今後はさらに強化していききたいと考えている。

◎道路保全

※ 資料－７のダンプ荷台のシート養生について、シート外しする場所については如何に考えているのか。また、いつから実施するのか。(千葉県)

→ ダンプ荷台へのシート養生については、既に山砂安全協議会・ダンプ事業主と協議し、シート養生に取り組むことで合意している。ただし、シート外しする場所などの細部について現在詳細を詰めており、今後、関係する道路管理者等と個別に協議して結論を出し、早期に実施したいと考えている。

※ 運転手の荷台への昇降作業・高所作業を考慮すると、強風・降雨時のダンプ荷台へのシート養生は難しいとのことであるが、強風のときこそ砂が飛散しやすい環境となるため、行っていただきたい。(千葉県警)

→ 今後、具体的な方法等について調整させていただきたい。引き続きご指導をお願いしたい。

※ 地域社会貢献について、沿道及び岸壁の清掃を実施すると参考資料－１には書かれているが、過去に何処を清掃したのか。(木更津市)

→ 土源の周辺については、山砂採取事業者が従前から地域貢献の一貫として側溝、道路の清掃を行っている。岸壁や臨港道路については港湾運送事業協同組合が清掃車を手配して、定期的に清掃を行っている。JVも臨港道路の清掃や草刈りに協力している。また、国道１２７号にて山砂採取事業者が採取場出入口の道路清掃を継続して行っているところもある。

国土交通省としても、千葉国道事務所の協力により、国道１６号、国道１２７号の道路清掃を行っていただいているところである。

※ 例えば、東太田地区(資料－５ 運搬経路図(案)のc)において、従前から騒音や粉塵の苦情が多い。羽田のダンプが全ての原因とは限らないが、地域貢献として清掃等を行ってもらえれば自治会や市民の目も変わると考えられるので、運搬ルート of 清掃もお願いしたい。

(木更津市)

→ 状況を見ながら対応していきたい。

※ 道路への土砂の引き摺りについて、具体的に如何に対処するのか。(千葉県)

→ 土源で車輪や荷台に土砂が残らないよう清掃を徹底する。土砂を落としてしまった場合は、清掃車や人力清掃にて引き続き対応する。

◎その他

※ 山砂運搬は年度末まで行うのか。(千葉県)

→ 山砂運搬については、平成22年2月までの計画としており、羽田再拡張事業として、山砂運搬の最終年度となっている。

※ 交通渋滞対策の1つとして、君津鴨川線の君津IC入口交差点や根本交差点の信号の現示調整による対策を以前より行っていると聞いている。交通が集中する東関東自動車道の本更津南ICから国道16号線にアクセスする交差点についてはどのような対策を講じるのか。(君津市)

→ 当該交差点の渋滞対策については、既に交通シミュレーションを行ったところであり、その結果をもって、交通管理者と信号現示調整に向けた調整を進めているところである。

以 上